

学校評価シート（自己評価）

文京学院大学ふじみ野幼稚園

1、園の教育目標

- ・ 誠実（誠実に、じっくりと）
- ・ 勤勉（よく動き、よく考える）
- ・ 仁愛（思いあい、助け合う）

2、具体的な目標や計画

- ・ 自分の健康に関心を持ち、病気を予防する態度を身につける
- ・ 保護者と幼稚園が情報の共有をする。
- ・ 音楽を感じる生活をする。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果 (※)	結果の理由
手洗いうがいを徹底し、子ども自身が必要感を持って取り組めるようにしていく。	A	手洗い・うがいの仕方(順序)がわかりやすいように、絵で表示する。また、適時重要性を言葉で伝えていった。
マスクの取り扱いをその都度知らせていく。	A	文科省からの指導を受け、マスクの着用はその都度対応をするようにした。保護者に協力を仰ぎ、保管のための袋を用意してもらった。
保護者からの問い合わせには時間をあけずに丁寧なやり取りを心掛けながら信頼関係を築いていく。	B	電話連絡が必要な方には、放課後すぐに電話をするようにしているが、打ち合わせ等で遅くなってしまうことがある。
面談では、成長した姿を中心に伝え、保護者からの話には、寄り添う姿勢で耳を傾ける。	A	成長したことを伝えることで、保護者は保育者に対しての信頼度が増し、保育者の提案する努力目標に対して真摯に受け止めようという姿がみられる。
生活の中で歌を歌う。	B	マスクをした状態で密集せずに歌うことを意識して行った。基本的には、学年で歌う歌を統一はしているが、クラス差が多少あった。
様々な楽器に触れる。	B	生活の中で自然に楽器が触れられるように楽器コーナーを設定した。興味に温度差があったため、保育者の積極的なかわりが必要だった。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	保護者アンケートの結果、そして、各個人の自己評価からは、おおむね目標は達成できていると思う。コロナ禍も2年目になり、今まで通りではなく、工夫して保育を進めることが自然にできるようになった。また、感染状況により対応の変更を余儀なくされることがあったが、柔軟な対応をすることができていた。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
自分の健康に関心を持ち、病気を予防する態度を身につける	手洗い・うがいを習慣化するようにその意味を知らせ指導する。 マスクの取り扱いをその都度知らせていく。 砂場などで遊んだ後の手洗いの仕方を指導する。 先生自身が思いっきり体を動かす遊びを率先して行う。
挨拶を自らすることができる。	保育者が率先して挨拶をする。 それと同時に挨拶することの心地よさを子ども達に伝える。
音を感じる生活をする	歌にこだわらず、音・リズムを感じるができる環境作りをする。